

研究チーム名：北ヨーロッパチェンパラー国際研究チーム

# チェンパラー



## 【名前の由来】

カタカナをてきとうにならべた。

---

---

---

**【ふだん食べているもの】**

プランクトン

---

---

**【大好きな食べ物】**

きれいな海草

---

⇒なぜ？ きれい好きで、みどりの色が好きだから

---

**【きれいな食べ物】**

くさった海草

---

⇒なぜ？ きたないのがきれいだから

---

**【天敵】**

シロクマ

---

⇒なぜ？ 氷からでてきたところをおそわれるから

---

---

**【寿命】**

1000 歳

---

## 【一日の行動パターン】



朝

体を温める

海草を探しに行く。プランクトンを食べる。

氷からでて休息。

プランクトンを食べる。

昼

シロクマがこないか氷の上をはって見回る

海草をまたさがす。プランクトンを食べる。

夜

海流によって移動する。交尾するため、メスをさがす。

寝る。

夜明け前、目覚める

## 【成長過程の記録写真】



とくちょう

ひげが少ない。体重が軽い

### ■こども

身長 70 センチメートル

体重 5キロ グラム

### ■おとな

身長 150 センチメートル

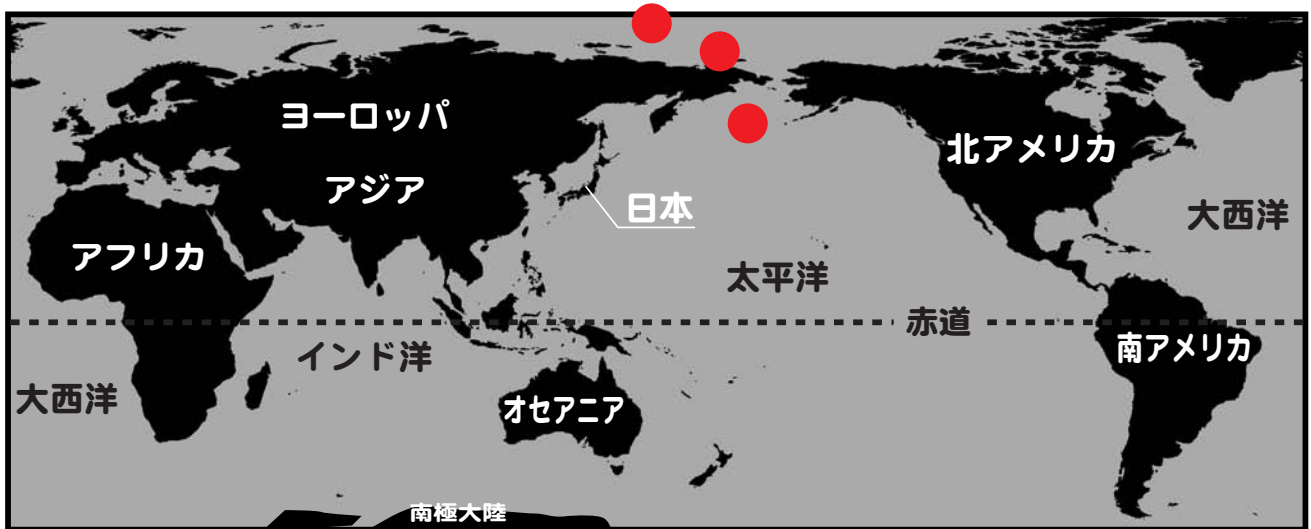
体重 40キロ グラム



とくちょう

体重が人間のオトナより軽い

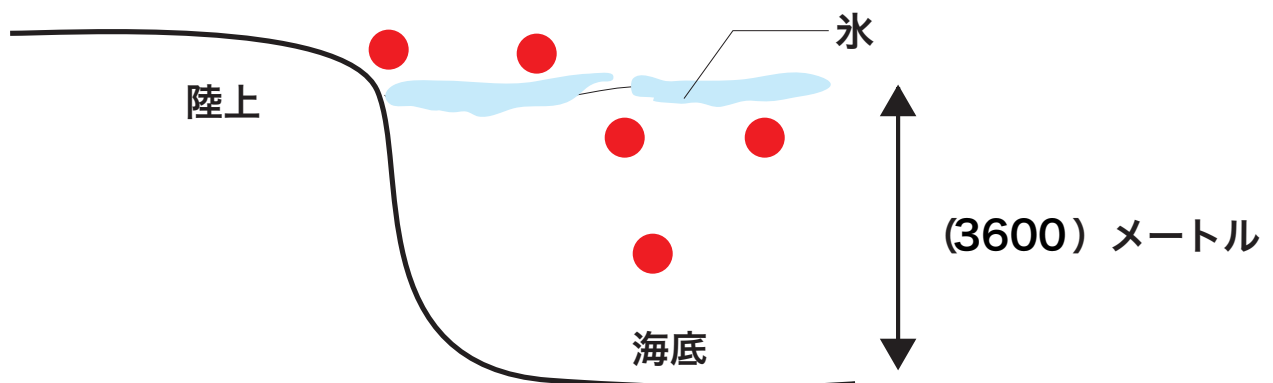
## 【分布域】



⇒なぜ？

雪があり、氷が厚いから

## 【生活域】

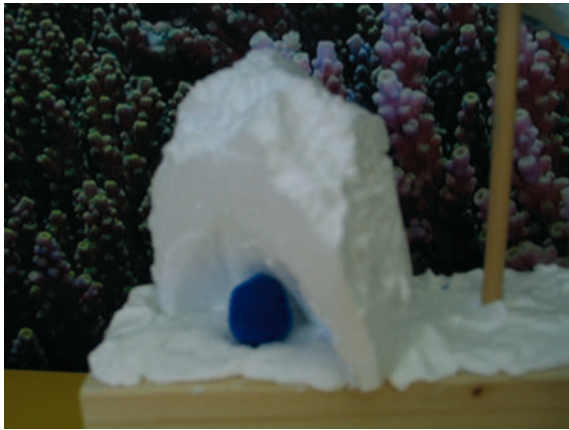


⇒なぜ？

海草がたくさんあるからという説もあるが、いまだに不明

## 【その他】

つめの形は、海草を効率的にとるための形をしている。ひげは、プランクトンをたくさんとりこむため。出産時のみ、♂が岩のくぼみに巣をつくる。ほ乳類とみられるが、卵が見つかったため、何類か不明。



す

せんすいかんがとらえた写真



## 【目撃情報】

北ヨーロッパ付近の海で、船にのっていた、漁師全員がクジラの鳴き声とは思えないような奇声を聞こえた。ふしんに思った5人が海の辺りを見ると、体長1.5メートルほどのゾウアザラシのような、動物が30秒ほど水面から顔を出し、やがて、船の下を通ると去っていった。

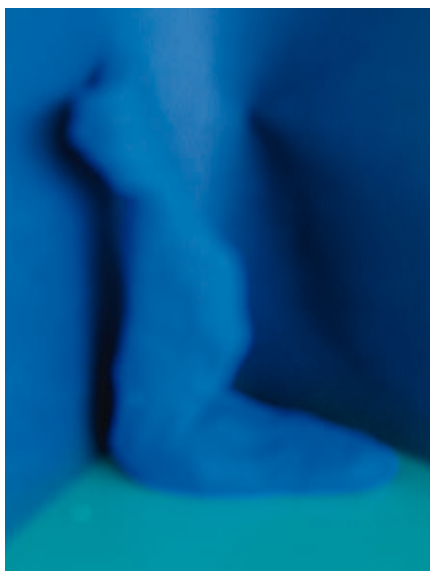
さらに、他20人ほどが目撃、そして、目撃情報によると、「つめに先が丸い」「顔にでっぱりがある」と言っていた。

さらに3カ月後にこんどは、ヨーロッパのせんすいかんがたまごをうむところを見たと言っている。

そして、地元の人から、「チェンパラー」と命名され、さらに研究グループが氷の上のうちあげられているシロクマの死がいの胃ぶくろの中を調べると、チェンパラーのこどもの死がいと見られるものを発見する。

さらにさらに、チェンパラーが作ったとみられる巣を見つける。卵を調べた結果、こきゅう器官を発見。

ある研究者は「哺乳類でないかと」と発表。しかし、卵も発見されていることから、「八虫類ではないか」という意見もあり、いまだに何類かわからない。



目げき写真

**【ふだん食べているもの】**

プランクトン

---

---

**【大好きな食べ物】**

きれいな海草

---

⇒なぜ？ きれい好きで、みどりの色が好きだから

---

**【きれいな食べ物】**

くさった海草

---

⇒なぜ？ きたないのがきれいだから

---

**【天敵】**

シロクマ

---

⇒なぜ？ 氷からでてきたところをおそわれるから

---

---

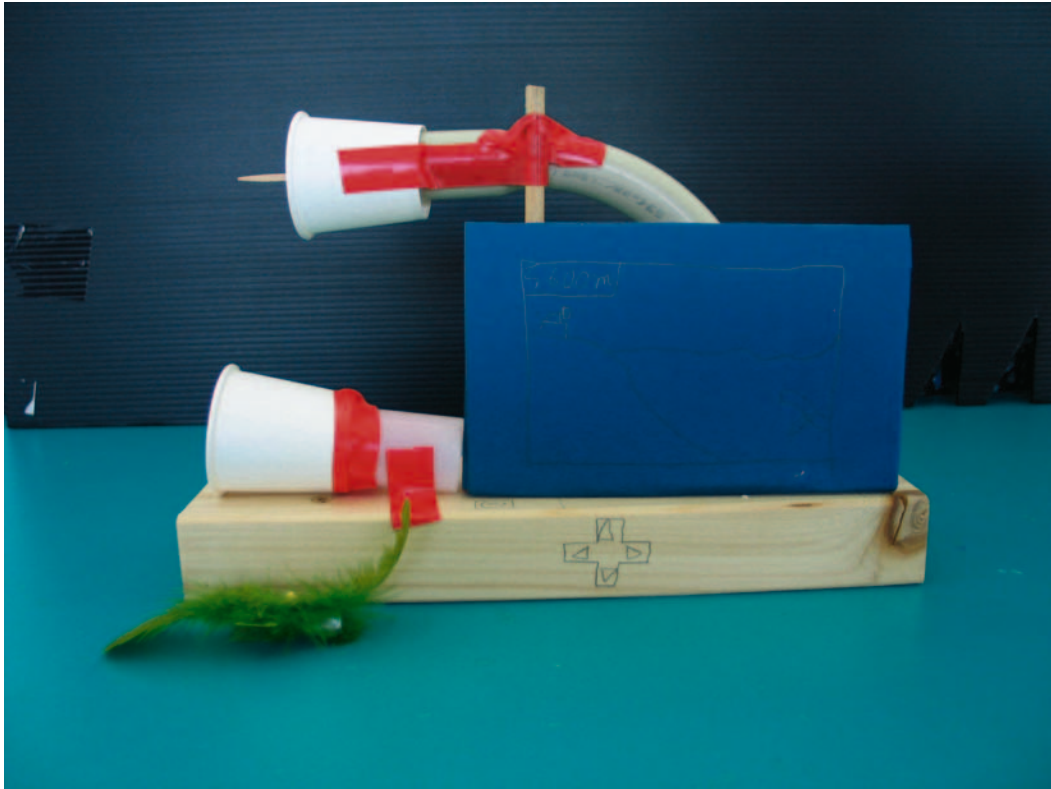
**【寿命】**

1000 歳

---



## 【この生物の調査のため、研究員が開発した道具】



### ■道具のなまえ

#### 生物発見機

### ■開発目的

新種の生き物を発見し、体の中を調べる。

### ■この道具の使い方

発信機で、場所をかく定し、  
海草ににせたカメラをチェーンパーにたべさせる。

### ■この道具のすごいところ

カメラ自体は小さいけれど、体のなかにくっつき、  
1年間以上うつしつづける。

### ■今後の改良点

とくにありません。